

# 学校だより

E-mail [miyuki-j@kec.hakusan.ed.jp](mailto:miyuki-j@kec.hakusan.ed.jp)

校長 田中 陽子

HP <http://www3-net13.hakusan.ed.jp/miyuki-j>

Tel. 0761-43-2372

## ◇◇58名の卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます◇◇

3月13日、第79回卒業証書授与式を行いました。一人ひとり卒業証書を受け取り、立派に巣立っていきました。

### ◆◆答辞より◆◆ 卒業生代表 麻田 翔太、橋本 小夏

厳しかった冬の寒さも和らぎ、春の訪れを感じさせる今日、私達は卒業の時を迎えました。長い冬を越えた春のように、私達もこの三年間で確かな歩みを進め、大きく成長することができました。振り返ると様々な瞬間が鮮明に蘇ってきます。



一年生の春。わたしたちは期待に胸を膨らませて、入学しました。新しい友だちとの出会い、新たに始まる部活動、文化祭などの初めての行事、すべてが楽しみでした。入学式の日、凛とした態度で式に臨む先輩方の姿を見て、中学生としての責任を感じました。そして私も、礼儀を大切に、周囲から信頼される中学生になりたいと強く思いました。

二年生になり、初めての後輩ができました。最初は自分が先輩であるという自覚がなく、不思議な気持ちでしたが、ともに活動をしていく中で、徐々に自覚が芽生えてきました。また、二年生で忘れることができないのは、三日間の職場体験です。私は介護施設で働かせていただいたのですが、利用する方のために、日々心を込めて働くスタッフの方々の姿を見て、相手の気持ちに寄り添いながら支える、コミュニケーションの大切さを学びました。この体験は私にとって大きな財産になりました。

そして三年生。最初の大きな行事は修学旅行でした。班のみんなと、地図を見ながら行き先を考えているときから、楽しくて仕方のなかった京都自主プラン。歴史ある町並みを歩きながら、協力して目的地を目指した時間は心に残るものになりました。仲間と過ごした三日間はあっという間で、忘れられない思い出です。

一人ひとりが全力を尽くした運動会。全学年で取り組んだ団パフォーマンスでは、わからないところを教え合い、完成度を高めるために繰り返し練習しました。そして、迎えた当日は、「鬼神奮迅」のスローガンのもと、白熱した戦いが繰り広げられました。だからこそ、最後には団を超えて、互いの健闘を称え合うことができたのだと思います。

合唱コンクールでは、クラスみんなで心を一つにして練習を重ねました。思うように声が揃わず悩むこともありましたが、励まし合いながら本番を迎えました。歌い終えたときの達成感とみんなの笑顔は、今でも忘れられません。学年で行くことができた小松市音楽発表会でも、全員の心が一つになり、私達だけの「明日へ」という楽曲を披露できました。それは、仲間と支え合い、頑張ろうとする力が、私達の中に生まれていたからだと思います。

こうして振り返ると、私達は多くの人に支えられていたことに気づきます。まず、三年間をともにした仲間たち。私達の学年は、一人ひとりが个性的で、ときに粹をはみ出し、対立することもありました。ですが、共に過ごす中で、長所も短所も含めて互いを認め合えるようになり、より一層関係が深まっていったように感じます。受検が迫ってきた放課後、一緒に勉強する仲間の輪がだんだんと広がり、受検を終えた人たちも協力してくれました。苦手教科を教えてくれたり、励ましてくれたり…。「受検は団体戦」三年生になったばかりの頃に聞いた、この言葉の意味を、改めて実感しました。みんなのおかげで、私は最後まで頑張れたのだと思います。本当にありがとう。

入学した頃と比べ、私達は本当に大きく変わったと思います。日々を重ねる中で、仲間を思いやる行動がたくさんできるようになりました。成績が伸び悩んで、不安で落ち込んでいたとき、明るく励まし

てくれたよね。そのおかげで心が軽くなりました。みんなの笑顔を見ると元気が出ました。みんなの笑顔が大好きです。みんなと一緒に過ごせてよかった…。みんなと離れたくないというのが本音です。でも、たとえ離れても友情は変わりません。これからもそれぞれの道で成長していきましょう。

いつもそばにいてくれた先生方。私達のことを考えた丁寧でわかりやすい授業だったので、いつも、前向きに学習することができました。そのおかげで不安も減り、自信を持って入試に臨むことができました。そんな先生方と過ごした時間は今でも忘れられません。これまで厳しくも温かくご指導くださり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、一番近くで私達を支えてくれたお父さん、お母さん。うれしいとき、悲しいとき、不安でいっぱいだったとき。どんなときも寄り添い、話を聞いてくれましたね。口にはなかなかできなかったけれど、この家族のもとに生まれてよかったと、心の中でいつも感謝していました。本当にありがとう。これからもたくさん話をして、たくさん時間をともに過ごしたいです。よろしくお祈りします。

一、二年生の皆さん。これまで私たちについてきてくれてありがとう。運動会や文化祭で、学校が一つになって盛り上がったのも、一、二年生がいてくれたからです。みんなは、素晴らしいところをたくさん持っています。これからは自分たちが思う、最高の御幸中学校を創り上げてほしいと思います。

私達は、これからそれぞれの道を歩んでいきます。別々の場所で新しい挑戦が始まりますが、この学校で過ごした時間は決して消えることはありません。ともに笑い、悩み、支え合った日々は、これからの人生の大きな糧となるはずです。この先、迷い、立ち止まることがあるかもしれませんが、御幸中学校で過ごした三年間を思い出し、必ず乗り越えていきます。そして、いつの日か成長した姿で再会できることを願いながら、これからの人生を力強く歩んでいくことを誓います。

最後になりましたが、今日は私達のためにこのような素晴らしい卒業証書授与式を挙げていただき、本当にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。名残は尽きませんがいよいよお別れです。皆様のご多幸と御幸中学校のさらなる発展をお祈りし、答辞といたします。

## ◇◇在校生は、卒業生の思いをしっかり引き継ぎます◇◇

### ◆◆送辞より◆◆ 在校生代表 森 心陽

御幸中学校を旅立たれる卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。さまざまな行事の中で、みなさんは私達を引っ張ってくださいました。

「鬼神奮迅～個性を大きな力に運動会を盛り上げよう～」というスローガンのもと、行われた運動会。先輩方が中心となり、全校生徒を力強く引っ張って下さいました。より良い運動会をつくろうと真剣に取り組む姿がとても印象に残っています。先輩方から仲間と協力することや最後までやり抜くことの大切さを学ぶことができました。

また、部活動では、先輩方の努力する姿から多くのことを学びました。試合中、どんなに点差をつけられても、勝つために一点一点を追いつける姿から、最後までやりぬく強さを学びました。また、上手く行かず苦しいときにかけてくれた、「大丈夫」や「次は行ける」という言葉からは仲間を思いやる優しさを学ぶことができました。そんな先輩方の姿は私たちにとって、憧れであり大きな目標でもあります。先輩方が築いて下さった伝統を私たちがしっかりと受け継いでいきます。

私たちも先輩方を見習い、よりよい御幸中学校をつくっていきます。

(一部抜粋)



## ◇◇感謝の思いを込め、在校生が会場準備や清掃を行いました。ありがとう！◇◇



\*子どもたちの頑張りの様子は学校ホームページでお知らせしています。どうぞご覧ください。

## ◆保護者の皆様へ

### ○ふれあい面談について

3学期も引き続き、「ふれあい面談」を実施します。学級担任を中心に生徒一人一人の困り感や悩み等に耳を傾け、誠実に対応していきます。保護者の方につきましても、学校への相談等ありましたら、いつでもご連絡ください。保護者の方と手を携え、引き続き安心・安全な学校づくりを進めていきます。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。